

---

# 恋愛全面戦争

鯖

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

恋愛全面戦争

### 【Nコード】

N2082D

### 【作者名】

鯖

### 【あらすじ】

恋に興味なかった男の話・・・女子との恋愛の戦争の話。・・・  
恋愛は、戦争だ・・・

・・・荒れすじ（前書き）

ハッピーエンドじゃないと嫌な人は、見ないでください

．．．．．荒れすじ

．．．．．曇り空だ．．．．．

最近天気は、俺の気持ちのように流れてる気がする．．．．  
なんで、こんなこと考えてんだろ．．．．すべて、あいつのせいか．  
．．．

こんなこと考えてんの世界の中で俺だけだろうか．．．．  
恋愛は、戦争だなんて思ってたの．．．．俺だけだろうか．．．  
いまや、ケータイ小説や、ドラマなんかで恋愛の話なんかがよくあ  
る．．．．

でも、いつでもあんな美しいきれいな恋愛ができるわけない．．．  
あんなん見ていつも見下してる．．．．ベタすぎる．．．

ああ．．．俺だけだろうなこんな男．．．

こんななんになったのも．．．あいつのせいか．．．

天気は、かわらず曇り空．．．いや、さっきより悪くなったか？  
はあ．．．．もう一度読者に言っておく、恋愛は、戦争だ．．．  
こんなことを考えながら、俺は生きている、ここにいる．．．

・・・荒れすじ（後書き）

見てくれてありがとうございます。この、恋愛の話が  
好きな人も嫌いな人もいるかもしれませんが、まあ見てください。

## 開戦（前書き）

前回の続き、第2話。

## 開戦

話は、ちょっと前に戻る・・・2007年9月12日・・・体育祭が終わって文化祭の準備に入ろうとするとき・・・

休み時間に教室で机にふせ、寝ていた時。1人の女子が俺に向かって話しかけてきた。

田中絵里・・・突然でびっくりしたが、それは内面でおどろいただけで、外では、「何？」と普通に答えた。

「望ってさ」メールしてる？あ、パソコンでもケータイでもいいよ」

・・・メールか・・・そういえばしてないな・・・  
「してない。」

ケータイは、高校受験受からないと買わないと親から言われていた、パソコンは、ハンゲームがやりたかったのでアドレスを一度作ったがもうメールのIDとパスワードを忘れてしまった。

「そうなん、やればいいじゃん まあいいや、じゃあね。」

そういつて田中は、また友達の輪の中に入ってしまった。

メールか・・・やろうかな・・・。うつぶせになりながら考える。

友達の中でもケータイを使う人が増えてきた・・・

流行に乗り遅れないよう、パソコンを使いメールをやる人が増えた。メールをやってないのは、俺だけ。というくらいメール利用者人口が増えてた。

どうしようかな・・・今日あたりにでもyahooメールに登録しようかな・・・

・・・やっておくか、別に存するわけじゃあないし・・・  
そして、同日、10時yahooメールに登録してアドを作った・・・

しかし、このメールが相手の戦術のはばを広めてしまったなんてこ

の時は、かんがえられるわけがなかった・・・



## 開戦（後書き）

つまらないですか？まあ、見てください。

## メールからの攻撃1（前書き）

田中軍！攻撃準備！  
}

## メールからの攻撃1

次の日、俺はいつもどおり学校に向かった、

2007年9月13日・・・田中とのメルアド交換条約を結ぶ

「おはよー!!」

教室に入るといきなり田中が元気よく言ってきた。

「・・・おはよ、」

テンションについていけない、朝は苦手ではなかったが、俺はいつもテンションが高いほうではない。休み時間だって教室で友達と話すか机にふせて寝るかしかしなかった。

「げんきないなー!!おはよっ!!」

「・・・おはよ、」

「もーっ!元気ないぞ!!」

「いつも、こんなんだ」

そういつて席につく、あいつ・・・あんなにしつこかったっけ?・・・

・まあ、シカトしとけばいいか・・・

そんなこと考えながら、1時間目をおえた。

「ねー望みメールすれば?簡単だよ?」

「もうやった、メルアドもできた。」

「えっ!そうなん!なんでもっと早く言ってくれんかったん」

「いや、別にいわんでいいかなと・・・」

「なんでよ!!もっと早く言つてよ今度から!!」

「ああ、まあ。」

うるせー・・・まじうるせー・・・こんな人だったっけかな?

「明日私のアド教えるけーね。」

「ああ、」

しかし、うざいなんて口にできるはずがなく会話は進んでいく。

「どうしたん?やっぱ元気がないねー」

「だから・・・いつもこんなんだ・・・」

「まあいいや、元気だしーよ。」

「ああ、」

てめーのテンションについていけねーよ・・・と思いながら2時間目をすごした・・・

何で俺にかまうんだ？俺そんなに好かれる人種じゃあねーぞ？・・・

・

そんな感じで今日1日すごした・・・

・・・これ以上あいつの攻撃がふえたらどうなるんだろ・・・

大変な被害になりそうだ・・・望軍は、防御態勢に入った・・・

## メールからの攻撃1（後書き）

田中軍が攻撃態勢に入り、望軍が防御態勢に入りました。 2007

年9月13日田中とメルアド交換条約を

結びましたこれから田中軍の攻撃がどうなるやら・・

## メールからの攻撃2（前書き）

田中軍、戦闘準備に入ります！

## メールからの攻撃2

田中とメルアドを交換しようと約束した日、俺は男友達のアドをききにいった・・・

なぜなら田中のメルアドをアドレスブックの先頭に置きたくなかったからだ、

先頭に置いたら必ずだれかが「お前のアド帳なんで田中が先頭なん？もしかして？」

と言ってくると思った。というよりか田中は先頭に置きたくなかった、

もっと可愛く美女ならば先頭に置いてても全然いいのだが、

田中は、正直可愛くないし男子からの評判も良くなかった。

俺も嫌いだ、だから先頭に置きたくなかった。

帰るとき大輔にメルアドをきいた、

大輔とは、本名・河村大輔、通商大輔だ。同じ部活、同じ野球部員だ。

小学校はちがったが中学校で仲良くなった。野球部のなかでは1番仲がいいかもしれない、

中学校で初めて出会った時かなりに気が合ったからだ、好きな映画、見ている番組、やっているゲームなどなどいろんなことで気が合い仲良くなった。

今でも一緒に帰っている。

「は？メルアド？お前ケータイ買ったん？！」

「いや、買ってない、パソコン」

「そうなん！俺メルアド覚えとるから今すぐ教えられるぞ！」

「そうなん、じゃあこれに」

おれは、メモ帳を渡す。なんかの参加賞で貰ったやつだ。

大輔はすばやく、あつという間に書いた。

「はいこれ・・・俺の」

「おお、ありがとう」

そんな会話を交わしながら大輔とは、別れた。  
次の日、やつが来た・・・田中だ。

「おはよ望ッ」

「・・・おはよ。」

「元気ないぞっ!!」

「・・・。。。」

数秒間の間・・・。

「どうしたん？おこってんの？」

怒ってた・・・ものすごい怒ってた・・・怒るといっか、機嫌が悪かった。

昨日からお前はしつこい・・・いやというほど・・・。

本当にムカついてた、しつこい・・・嫌いだ・・・田中が・・・。

「別に・・・いつもこんなんだ。」

「そツカ　じゃあ、これね　はい、アドだよ」

「パソコンとケータイ両方あるから　じゃあね」

はっ！・・・またやってしまった・・・最悪だ。

女子にひどいことが言えない・・・昔から言えなかった、キャラのせいか：いつもこんな感じで・・・ほかの男子は普通女子をからかう、小学生の時からそうだ。中学生になったらそんな人もいないだろうと思ったがそうではなかった・・・変わっていなかった・・・大人になった中学生が誰一人もいなかったのだ・・・男子が女子をからかうなんてガキの中のガキ、そんなの人が意外にも大勢いたのだ・・・でも俺は昔からそんなことはしなかった、なぜだろうか、兄弟が女ばっかりだからか？よくわからない・・・  
(しかたない・・・今日のメールで・・・遊ぶか・・・)



## メールからの攻撃2（後書き）

望軍、戦闘準備に入ります！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2082d/>

---

恋愛全面戦争

2010年10月14日22時51分発行